2017,11,26

小女郎峠・蓬莱山トレツキング記録

小女郎谷から蓬莱山を目指しました。登り始めは、暑いくらいでしたが、蓬莱山山頂近くになると寒くなってきました。帰りには、静寂な雰囲気の小女郎ヶ池に寄り、来た道を下山しました。道中、ナメコ獲りを楽しみました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

◆歴史①

小女郎ヶ池（こじょろがいけ）

比良山系には、八雲ヶ原をはじめ多くの池や沼地がありますが、その中で最高地点にあるのが小女郎ヶ池で、蓬莱山（標高1,174m）の南西標高1,060mに位置します。

ボーリング調査によりますと、深さ1.28mを境に、これより浅いところでは泥炭層が、これより深い所では磯層となり、この磯層と泥炭層の間に火山灰がはさまれています。

この火山灰は、今から約6,300年前に噴火したものが堆積したアカホヤ火山灰と考えられます。

また、この池は、地元の人たちから「雨ごいの池」として崇められているほかに、有名な悲哀伝説が語りつがれています。

昔、ふもとの南船路の里に久右衛門とおきという夫婦がいました。ある日おきは、池のあたりへ薪を取りに来ていると、美しい青年（実は池の主、大蛇の化身）に会いました。以来夜になると、池に通うようになったお孝の行動に不審を持った久右衛門が、ある夜あとをつけ、お孝が池に入るのを見て驚きました。気付いたお孝はお詫びのしるしにと左目をくりとって夫に渡し、「赤ん坊が乳を欲しがったら、これをしゃぶらせてほしい」と言い残して池へ入ってしまいました。孝女郎が入った池だから孝女郎池、それがいつしか小女郎ヶ池になったといわれています。

◆歴史② 蓬莱とは元来中国の伝説で仙人が住む東海にある霊山であり、比良山地も修験者の霊山であったことに由来するとされる[1]。

◆トレッキングの様子

小女郎谷を登る

ナメコ獲りを楽しむ

小女郎峠から蓬莱山を目指す

小女郎峠からの眺望

雪が残っている。ベチャベチャの道を行く

眺望楽しみながら

あちこちに石仏がいらっしゃいます

一等三角点比良ケ岳

蓬莱山山頂にて祈念撮影

小女郎ケ池へ

小女郎ケ池①

小女郎ヶ池②

下山　来た道を帰る

ナメコの収穫①

ナメコの収穫②